



火の柱

Friends of Jesus 2023.9 第736号

イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②貧しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を尊ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

テーマ「天の父の御心を行う人」1P「天の父の御心を行う人」鈴木武仁 2P「心ひとつにして朝拝会」東海林昭雄、「イエスの友会と私」キム・ジョンモ 3P「夏期聖修会報告」高島史弘 4P「会計報告」小野島正彰 「会員情報」高島史弘

天の父の御心を行う人

イエスの友会会長・鈴木武仁



わたしの母とはだれか。わたしの兄弟とはだれか。わたしの姉妹とはだれか。それは天の父の御心を行う人がそれだ、とイエスはある人に語ったそうだ(マタイ十二章五節)。これはいまのわたしたちにとって何を暗示するのであろうか。

この話の前の前にあるフアリサイ人、聖書学者たちがイエスの権威を知るために奇蹟をもって証明して欲しいと告げに来たので、イエスは三つの例話をもって説明した記載がある。

第一は、預言者ヨナについて語る。彼は三日三晩、大魚の腹の中にいて救われることにより、邪悪な堕落した世代の人々に奇蹟を見せ、ニネベの人を悔改めに導いたという。これはキリスト自らもまたイスラエルから異邦人に転向して、向かわれたようにである。

第二は、ダビデ王の子ソロモンの知恵を聞くために異邦人の女、南の国の女王が来たという話である。彼女は遠方より、このソロモンの知恵を聞くために来たのである。同じように、キリストもまた死と復活をもって実際の奇蹟を示すという預言の言葉を語り、大胆にも「見よ、ソロモンにまさるものがここにいます」と告げている。

第三は、悪霊にとりつかれた人の譬え

である。汚れた霊はその体から出て行き、水の無い場所で行き巡って、休み場を捜すが見い出せず、もといいた人の体の中に戻り、そこに住み着いたという話である。しかも自分を満たすためによこしたところを片付け、自分たちを美化するだけで悔い改めず、自分よりも悪いほかの七つの悪霊を引き連れて来て、そこに住み着いた。

これらを三つの譬えを通して、イエスはいくらか奇蹟を見ても、行いをもって異邦人に向い、受け入れ、愛する思いの無い者は、キリストを拒絶するユダヤ人のようであり、その結果、いかに信仰があると云えども、神の御心を行う信仰ではない、そこには断絶すらあると告げているようだ。かくしてこの時点で、フアリサイ人、聖書学者たちはキリストと袂を別つたようである。これ以降、イエスは異邦人に転向され、彼らと霊の絆で結ばれ、「天の父の御心を行う人」はだれでも、イエスを助ける兄弟、イエスに同情する姉妹、優しく愛する母なのだ」と告げたのだった。

その日、イエスは「イスラエルの家」を出て、異邦人世界を象徴する「海辺」に座られたというのである。イエスは、当時のユダヤ人指導者たちに完全に拒絶され、「イスラエルの家」を離脱し、異邦人の世界で生きることを決意されたのであった。これはわたしたちの宣教のあり方について示唆するものでもあるようだ。強盗に襲われ傷ついたユダヤ人の旅人を助けた、介抱し、面倒を見たのは「イスラエルの家」のユダヤ人たちであったのか。聖書は、それはユダヤ人たちと断絶し、口も利かない関係にあった「サマリヤ人」ではなかったかとイエスは言う(ルカ十章)。実

に、この「善きサマリヤ人」こそ異邦人のために誠心誠意尽くすヨナであり、ソロモンであり、イエスを象徴しているのではないか。

サマリヤ人は、イスラエルの宗教指導者からは見下され、何が救いなのかもわからない愚か者扱いであった。でもこの傷ついたユダヤ人の真の隣人として愛をもって接し、介抱し、支え、真の救いそのものとなる行いをなした信仰を持っていたのは、「善きサマリヤ人」であったと言ったのである。「では、隣人とはだれのことですか」とイエスは尋ねる。

一コリント十二章で使徒パウロは、九つの御霊の賜物について告げているが、「御霊にある信仰」(九節)も挙げられている。しかしこの「信仰」とは通常いう「信仰による救い」と言うのとは異なるように思える。すると同十三章に目を移すとそこには、「異言」「預言」「奇蹟(奥義)」などの御霊の賜物の中に「山を動かすほどの信仰」があるうとも「愛がなければ何の役にも立たない」とある。まさに弟ヤコブの告げた言葉をほうふつとさせる。「行いの伴わない信仰は役に立たない」(ヤコブ二章二十節)という。ここには行いの伴う信仰、すなわち、御霊にある「信仰」が述べられていると読める。

賀川豊彦の信仰とは、御霊にある信仰であったのではないか、と思えてくる。当時の教会指導者たちの多くは彼のスラム街での貧しき者への愛の伝道が理解できなかったのではないか。彼の労働組合運動、農民救済への活動、生活協同組合運動などの行いをもって実践する信仰が、御霊から来る賜物としての信仰であることに気づかなかったのではなからうか。聖

霊の内住の中で、神の御声を聴き、なすべきことを、しるしをもって示され、確信して大胆に向かつて行けたのは実に「山を動かすほどの信仰」ではなかったか。それは非常識であり、理性では理解できかねる事柄を命がけで行おうとする、賢き宗教指導者には思かな事だったのである。

賀川豊彦は、暗い戦雲漂う時代、多くの冷笑、軽蔑、罵倒の声を聞きながら、ただみことばと神の奇蹟的啓示を見て、確信し、宣教に励んだ。困窮する貧しき者のために、病で苦しむ者のために何ができるのか。つまるところ、彼には何もする力も知恵も、知識もなかった。自分自身ですら貧しく、病んでいる身であり、隣人愛どころではない。にもかかわらず動かされていった。わたしは何もできないものだが、神には不可能はない。その神に委ねて、神の愛を信じ、待ち望もう。そうだ、祈り求めよう。必ずイエスがなした以上の大いなる業なし得るはずだ。イエスの約束を信じて待とう。「私を信じる者は、わたしが行う業を行い、また、もっと大きな業を行うようになる」(ヨハ十四章十二節)。こうして賀川の群れは祈りを第一とする者となった。祈りは必ず聴かれるとの確信する集団となったのである。

心ひとつにして 朝教会

書記 東海林昭雄

朝教会全国連合の案内の冒頭にこのような文章が載せられています。「1957年1月14日、大阪クリスチャンセン

ターを創設した教団・教派・教会の異なる信徒たちが心を一つにして祈り、朝食を共にしたところから始まりました。教団教派を超えて交わりは不思議な感動と喜びを与え、全国に次々と新しい会場が生まれました、とあります。ここにイエスの友会の原型を見ます。何故ならば朝教会はイエスの友会のメンバーが中心に生まれた祈りの団体であり、プロテストアント、カトリックの垣根を超えた祈りのグループは世界的にも大変稀有な存在であるといえます。

教団・教派を超えた超教派の集会や活動の背景には必ず朝教会に属する人々の姿がありました。心を一つにするところに神の御業が顕れるものです。

私は十一年前にさいたま市内の教会に遣わされ示されたことは、教派を超えた祈りのグループを作ることでした。不思議な導きをいただきその結果万事を益としてくださる神の恵みにより埼玉南部朝教会を皆様方の祈りに支えられて蕨市内に発足することができました。

赴任して間もない教会でご主人に対する愚痴を述べていた夫人がいました。真つすぐ家に帰らずにいつも飲み屋に寄つて来ると言うのです。そこで、「ご主人の救いのために祈ってみたらどうでしょうか」と語るや、その日から彼女は祈り始めたようです。彼女の夫は子どもたちを教会学校へと車で送迎してきましたが、教会の玄関の中に入ることはありませんでした。ところがいつの頃から礼拝に出席するようになり洗礼を受けられました。彼女の祈りが応えられたのです。

実は埼玉南部朝教会はこのご主人が所有しているマンション一階にあるテナントスペースにある福音ペーカリー「五つのパンと二匹の魚」を会場にして開催しております。

このお店には大きな十字架が掲げられています。礼拝の中で「エルサレムの聖書博物館に行く」と十字架が展示されています。その十字架は見上げるような位置にあるかのように思われますが、実は等身大の大きさです。「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分が何をしているのか知らないのです」と祈られた主イエスの祈りはロマ兵たちの耳でささやくような祈りであつたようです。ですから自分たちのためにも執り成しの祈りをささげられている主イエスをまじかにしながらも、彼らは主イエスの祈りに想いを傾けることなく、いずれは朽ち果ててしまふ主の衣を自分たちの物にしようとする中であつたのです、と語ったことがありました。

このお店を経営する姉妹は、素直な信仰をもつてそのような十字架を店内に設置され主イエスを証しておられます。お店の誕生と同時に埼玉南部朝教会は発足しましたが、その背後にはこの二人の姉妹たちの祈りが応えられた実であると云えます。月日は早十一年目を迎えました。発足の頃は朝教会の元全国会長の飯田潔兄も毎回元気に出席されました。今思うと機が熟していたように思えます。そしてこのお店では毎日曜日午後四時から福音集会を開催しており、福音が宣べ伝えられています。

パウロは「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分です」(コリントの信徒への手紙一 十二章26・27節)と書き送っていますが、そのような信仰の原風景を朝教会の中に見ます。

心を一つにして祈る時、神は色々な場で、今も生きて働いておられることを示

し、御自身の栄光をこれからも顕してくださることでしょう。

イエスの友会と私

金正謨

私が初めてイエスの友会の集会に参加したのは18年程前のことであつた。青山朝教会に参加していたので、当時青山朝教会で参加していた会員より勧められ、夏季聖会だけでなく月例会にも参加するようになった。当時月例会は松沢賀川豊彦記念館で開かれていたが、加納さんという立派なクリスチャンが参加していたことを覚えてる。

私は韓国出身で40年程前に日本に来た。日本のクリスチャンたちはパリサイ人のようなクリスチャンであるという冷たいイメージをずっと持っていたが、イエスの友会に参加するようになってから多くの良いクリスチャンに出会う祝福が与えられたと思うようになった。真に神を畏れ敬い、神の喜ばれることを行うクリスチャンたちに会えたからである。

今から15年以上前に夏季聖会に参加した時、私は不思議な聖なる霊的雰囲気を感じていた。その理由が何かについて私はずっと考えて見たが、多分その時の参加者たちの多くの方が賀川豊彦先生に直接会って影響を受けたからではないかと思ひ、聖書で神様が大きく働かれる現場を目撃した人々と比較してみようになった。聖書の中でイエスが水を葡萄酒に変えた現場で神の奇跡を目撃した僕たちやパウロがダマスコに行く途中光に会ったとき一緒にいた人たちを頭に浮かべ

せるようになった。パウロと一緒に Damascus に向かっていた人たちがイエスの言う通りに水を運んだ僕たちはイエスとパウロのように主人公の役目ではなかったが、神様の大きい臨在の場所にいた目撃者たちであって、そのあとの人生に大きい影響を及ぼされたに間違いなかったと思われる。

私がイエスの友会の夏季聖会に最初に参加してから5年から10年程経つにつれて、このような神の栄光を目撃したクリスチャンの割合が急激に減り、今はほとんど参加できなくなっている。それは人の寿命を考えて見れば不思議なことでもない。しかし、神様はそのあとの福音の担い手を選ばれ、イエスの友会を神様が愛しておられて示されている。イエスの友会には、神様が日本のために選ばれた賀川豊彦の祈りが積もっている。神様には不可能なことではないことを信じ、日本にリバイバルが起こることを夢見て祈り続けられ、神様は必ずお祈りを聞いて答えてくださるに違いないと思う。

素晴らしい御殿場での2023年度イエスの友会夏期聖修会

日時 2023年7月24日(月) から
26日(水) 御殿場YMCA東山荘

(中央委員会)

常任中央委員会 オンラインで毎月開催
2月21、23日、湯河原で春期聖修会
行った報告があった。

○ 各支部報告

・東京支部 クリスマス礼拝・祝会を開催
埼玉南部朝拝会を開催し10年目を迎え

楽しい食事とメッセージ



黙想館での早天礼拝

た東海林昭雄
・神奈川支部(特に活動なし)
・三河支部 活動記録冊子を作った。
アッセンブリーの岡崎神召教会を会場に毎月第一月曜日6時30分から8時までイエスの友会例会を開催している。元藤原歌劇団の当重茜さんを招いての集会を持った。約40名の参加者があった。(長谷川勝義)

・浜松支部 長谷川保読書会を継続。
▽湖西市山田宅 毎月第一木曜日から午前9時半から
▽浜松市細江町遠州キリスト教会 毎月第二木曜 午後2時より(及川健治)
・大阪支部

ビジョンを語る会

7月26日(水) 10時〜11時30分
賛美をささげた後、佃和男さんが祈りをささげた後、各人が以下のような発言をした。

(高島事務局長)

私は5代目のクリスチャンである。ジーザスレインの活動を拝見し、キリスト教会は罪の悔い改めを新たにすることがあるのではない。ホーリネス教会への弾圧の際、他教派は見ぬふりをした。不敬罪に問われた内村鑑三は評価されている。戦時中の教会の在り方に関して悔い改めが明確化されていないのではない。先祖の罪は私の罪と語ったネヘミヤのような信仰が求められているのではない。心の偶像を持つてはいないか。神以外に時間を取られてはいないか。居心地の良さが偶像になっていないか。フィニーは、魂を漁する働きをしているかと問うた。上からの力、聖霊の力に依り頼んでいるか。自分の救いに留まっていらないか。

(東海林昭雄)

ホーリネスへの弾圧は、戦後、元官憲であった人物の証言によると、最も熱心な宗派を弾圧するならば他の教派は黙するであろうとの考えで実行されたそうだが、実際その通りの結果となりました。当初はホーリネスの関係者は被害者として弾圧を訴えていましたが日

本ホーリネス教団が戦責告白をした際に、今まで自分たちは被害者であると訴えていたが、実は私たちも加害者であったと告白している。そのような在り方が大切であると思う。

群馬県榛東村に染谷武男さんが「全国自然栽培愛農学校」を発足し今準備をしているところだが、前橋市街全体が見渡せる山の中腹にあり、背後には榛名山などの山々、温泉なども近くにある。農業の学びだけでなく一般の人たちの宿泊先として提供したいと考えている。また心病む人々や非正規で働いている人たちに働きの場を提供する場となることも願っている。

(菅野直基)

毎日数百名にブログを発信している。福音のためならばどんなことでもしたい。路傍伝道ネットワークは年間200か所で伝道師、約150名がチームに加わり、受洗者1名、決心者が10名与えられた。また三菱のデリカが与えられたことも感謝である。直接伝道ではなく、間接伝道に時代は流れつつあるが、私はそれでも直接伝道を続けた。教会は十字架を隠してはいないか、キリスト自身を語っているだろうか。人の歓心を買おうとしているのではないだろうか。

(大野剛)

パラダイムシフトによるべき時を迎えているのではないか。個人の信仰生活に悔い改めがあるか。社会にどれだけコミットしているか。一人ではない。連携すること、国の勢力に働きかけることができるのではないだろうか。朝祷

会に関わっているが、違いを乗り越えて互いにリスpektして祈る時、世界平和につながるのではなからうか。日本の教会は衰退している。その原因として、個人伝道に集中し過ぎ、そこで満足しているのではなからうか。一度救われたのは、世の人々のために働く必要がある。信徒自身が誇りを持って働き出来るようにしなければならぬ。そうしなければ単なる繰り返しになってしまう。立ち上がって前進するところに意味がある。社会に対する関心を深める必要がある。

(渡部信)

常盤台バプテスト教会の協力牧師をしているが、ユーチューブでの礼拝もやっている。約400から500名出席し、昨年は7名の受洗者が与えられた。大和カルバリ教会は1日で1万件、アーサーホーランドは千件のアクセスがあるそうだ。常盤台ではユーチューブチームに10名加わっている。今の時代は不特定多数の人々が見ているユーチューブの時代である。その場合、言葉は選んでチェックする必要がある。

(長谷川勝義)

高山右近は加賀藩に保護されていたことがあった。金沢にはアメリカの宣教師が作った北陸学院がある。金沢での夏期聖会もあっても良いのではないか。古民家や休耕田などもたくさんある。土地献金などもあれば財政的に助けられる。また女性たちの参加も期待したい。

(李善恵)

大変良い集会であった。直接伝道をし

ている人や、ジーザスレインなど賛美を大切にしている人々の姿に驚いた。韓国でビリーグラハムの300万人集会に参加したが、仲間であることが確認できて感謝だった。加藤亮一牧師のつぐないの業を知り、こんな素晴らしい先輩がおられることに感動した。反省半分の良い時間となった。今後インタビューやアンケートを通して、何故入会し、賀川をどう思っているかを尋ねてみたいと思っている。

(高島事務局長)

私たちはどうすべきでしょうか。

(大野剛)

100年前の創立の際の学生20名の内10名は神学生、身内は10名であった。火の柱第一号は紙の上の教会となり、また媒体となつて筋金入りの信徒たちが集まった。世の中のニュースとは違い内面的ニーズが詰まっていた。聖書を教えてあげようではないか。また植民地的思考が強いのではないか。本当の意味で他者に仕えようとする点が薄い。社会の一員として福音を伝えることが重要である。社会全体を見直す考えに改める必要がある。

(金子信一)

中満姉の証しを聞き、驚の法則によって舞い上がる、その前に谷底に落とされるとの経験をする必要があることは教えられた。私はそのような経験を小5で体験した。普通の家族の生活から14名の児童養護施設の子どもたちと一緒に暮らす生活となった。父は子どもたちの父となり、母は病で倒れてしまった。父は牧師、長谷川保に学

び、福祉施設の運営を任せられた。社会問題とぶつかっている子どもたちと一緒に暮らした。一時虐待されたと思っていたが、親から受けたエッセンスは恵みであり、祝福された経験を持つことが出来た。

会計報告

≪二〇二三年六月以降九月迄の状況≫

◎維持費(二万二千円)二名(吉本真理、東海林昭雄)

◎会費(三千円)五名(吉本真理、渡辺和郎、東海林昭雄、林原泰樹、林原淑子)

◎購読料(千五百円)一名(渡辺和郎)

◎登録料(五百円)一名(渡部信)

◆会費納入と献金のお願い◆

尊い献金と会費等でイエスの友会の活動をお支え下さり、イエス様にあつて感謝いたします。(会計担当 小野島正彰)

・協田眞一 2023年8月8日 召天
(イエスの友会大阪支部長) 享年87才

・イエスの友会 春期聖修会予定
日時…2024年2月19日から20日
場所…神奈川県 湯河原 千代田荘

「火の柱」 第736号

発行人 鈴木武仁
発行所 イエスの友会本部

発行日 2023年9月30日
本部事務局

441-8016 愛知県豊橋市弥生町西豊和4、7
高島史弘(イエスの友会 事務局長)

携帯 09066495160
メール takashima.m33@japan.email.ne.jp

郵便振込加算名 イエスの友会本部
口座番号 0017074060809

火の柱編集 長谷川勝義
火の柱原稿メール先 bwp658@j.comuuf.jp

〒440-0026 愛知県豊橋市多米西町2-20-12
電話・FAX 0536216111・400221